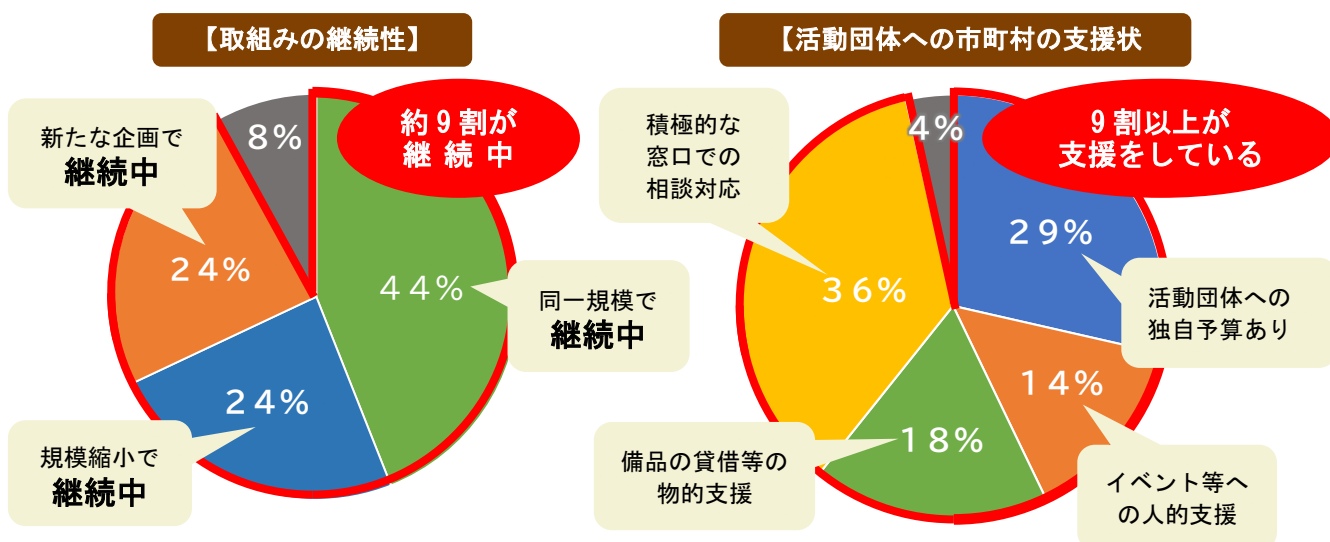
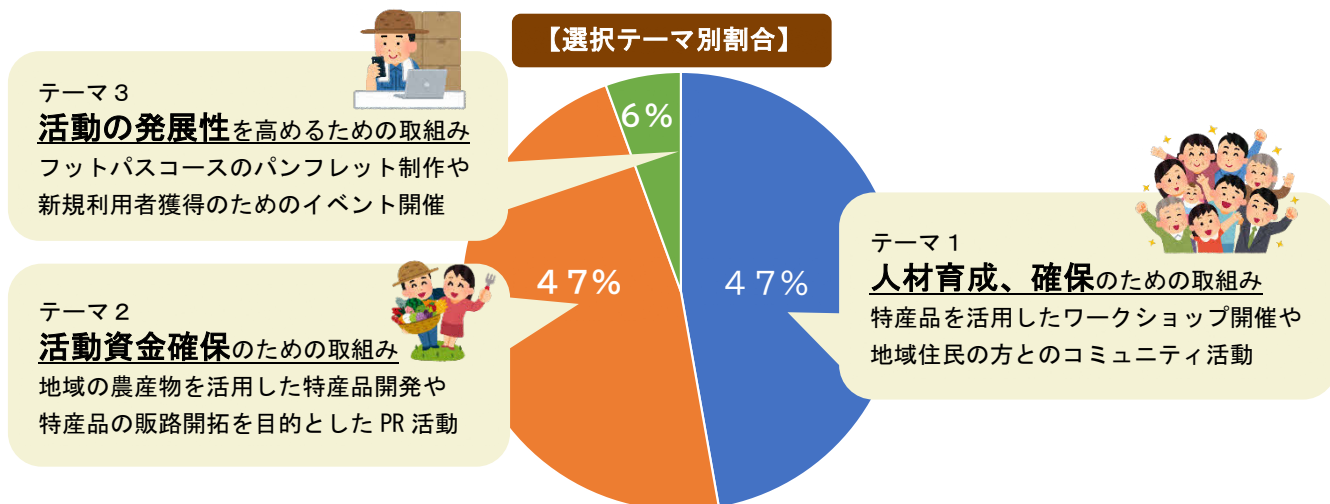


4. 採択団体と市町村へのアンケート結果

この事例集を発刊するにあたり、本事業を活用された団体や市町村すべてにアンケート調査を行いました。その結果（概要）をご紹介しますので、今後、住民による活動の参考としてください。

本事業を活用された団体においては、活動や組織の持続化を目指した取組みが多い傾向で、本事業が終了した後でも、ほとんどの団体において活動が継続されています。また、地元の市町村からの協力・支援があることも活動や組織の持続化に繋がっています。

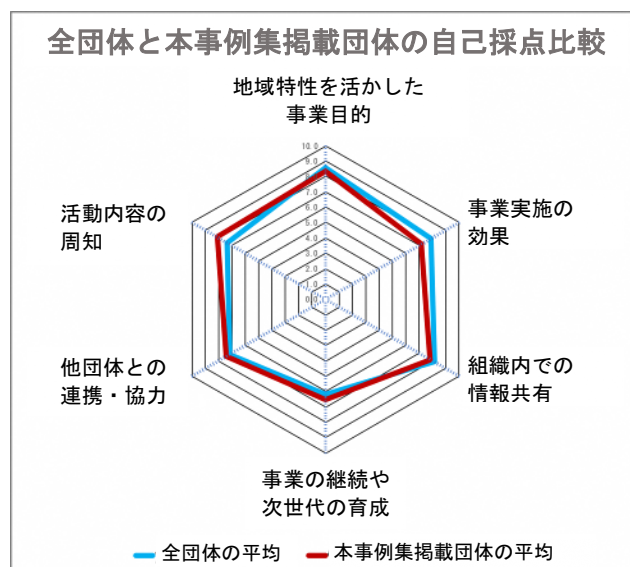


5. 活動の自己分析に便利なツール

アンケート調査では、「地域特性を活かした事業目的」「事業実施効果」「活動団体内での情報共有」「事業継続や次世代の育成」「他団体との連携・協力」「活動内容の周知」の6項目について10段階で自己評価をしていただきました。回答いただいた22団体の結果をご紹介します。

第三者の視点で自らの活動を評価することは、次のステップに進むときや活動のレベルアップのヒントになります。

活動を振り返る際に活用してみてください。



6. 熊本県むらづくり課の情報発信媒体

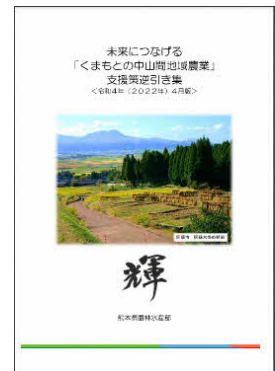
熊本県内の農山漁村地域で開催するイベント、グリーン・ツーリズムに関する情報、研修会や補助事業の募集などの情報を熊本県むらづくり課のホームページや公式 SNS で随時発信しています。

熊本県の事業を活用し、イベントや活動の広報を希望される際は、これらを活用して情報発信することができます。ぜひご相談ください。

◆むらづくり課ホームページ「くまもとふるさと応援ねっと」

「くまもとふるさと応援ねっと」では、活動の支援策や参考となる事例、イベント情報など、さまざまな情報を掲載しています。

多岐にわたる関連事業を取りまとめた「未来につなげる『くまもとの中山間地域農業』支援策逆引き集」を毎年作成しています。ホームページに掲載していますので、ぜひご活用ください。



◆むらづくり課公式 SNS

- ◇ X (旧 Twitter) アカウント名：ふるさとくまもと
ID：@kumafuruoen
- ◇ Instagram アカウント名：ふるさとくまもと
ID：@kumafuruoen
- ◇ Facebook アカウント名：くまもとふるさと応援
- ◇ YouTube アカウント名：熊本県むらづくり課【公式】



熊本県棚田マスコットキャラクター
ダンダン

「#ふるさとくまもと」で情報発信の輪を広げませんか？

「#ふるさとくまもと」はご存知ですか？

SNS で情報発信をする際は、本文に「#ふるさとくまもと」のハッシュタグを付けていただくことで、地域活動を行っている方々とのつながりづくりにご活用いただけます。また、「#ふるさとくまもと」の記事を共有(シェア、リポストなど)することで、より多くの方に情報を発信することができます。

イベントや活動内容などの情報を発信する際には、ぜひ「#ふるさとくまもと」をご活用ください！

